

4年生道徳授業 「花さき山」(真心の美しさ)

1.ねらい

真心の美しさや気高いものに感動し、大切にしようとする心情を育てる。

2.あらすじ

あやは、花さき山に住んでいる山ばと偶然出会い、そこに咲いている美しい花々が、人々のけなげな行為や、優しさの象徴であることを知る。作者は、3年生の国語で学習した「モチモチの木」と同じ「斎藤隆介」さん。高学年に差し掛かった子どもたちが、本当の心の美しさや気高さについて考え、感動する心の大切さを感じる物語である。

3.授業の様子

【1組】

〔あなたの花はどんな花ですか・・・という問い対しての子どもたちの考え〕



- ・「思いやりの花」。困っている友達にやさしくした時に咲いたと思います。
- ・「全力の花」。運動会で、みんなと心をつなげて取り組んだときに咲きました。
- ・「努力の花」。苦手なことにも自学で取り組んだので咲いていると思います。
- ・「助け合いの花」。家族みんなで協力して家の仕事をやり遂げたときに咲いたと思います。
- ・「挑戦の花」。学級役員に進んで立候補することができたので、咲いたと思います。
- ・「自信の花」。音楽会の練習に取り組み、みんなでやり遂げたので、咲いたと思います。
- ・「きずなの花」。おずかしいソーラン節に4年生全員で取り組んだので、咲いたと思います。

【2組】

〔あなたの花はどんな花ですか・・・という問い対しての子どもたちの考え〕



- ・「思いやりの花」。友達に勉強を教えてあげたときに咲いたと思います。
- ・「全力の花」。リレーのときにチームで全力を出して走ったときに咲きました。
- ・「努力の花」。出来なかったことに何度も取り組んだときに咲いたと思います。
- ・「お手伝いの花」。家族のためにお手伝いをしたときに咲きました。
- ・「協力の花」。運動会の練習でソーランの練習をしているときに咲いたと思います。
- ・「やさしい花」。困っている友達にやさしくした時に咲きました。
- ・「ありがとうの花」。友達や家族に感しゃを伝えられた時に咲いたと思います。

4.お家の方へ

「花さき山」の物語は、「美しさ」がテーマになっています。成長の著しいこの時期の子どもたちに、自然や音楽、物語などの美しさだけでなく、人の心の気高さについても感じ取ってほしいと願い授業を行いました。授業の最後に、「自分の花を探してみよう。」と投げかけました。子どもたちが、真剣に今までの自分の心と向き合う姿こそ、「花」であると感じました。一人ひとりの花を掲示物にすることで、友達の心の花について理解し、4年生の花さき山をつくることができました。

